

後期始業式 挨拶

2023/10/02

みなさん、おはようございます。

地球が沸騰した夏が終わり、過ごしやすい日々が続いています。今年の夏は、本当に暑かったですね。北海道でもクーラーが必要だと実感しました。校長室も暑かったですが、皆さんのHR教室はもっと暑い状況でした。伊達市においては、痛ましい事故もありました。皆さん、本当に良く耐えたと思います。

また、夏休み期間中には、全国総合体育大会、いわゆるインターハイが北海道内各地で行われ、ここ室蘭市ではフェンシング大会、苫小牧市ではソフトテニスとテニスの大会が開催されました。フェンシング競技とソフトテニス競技の大会運営に、朝早くから夕方遅くまで競技補助員して活躍してくれた生徒達に改めて、この場を借りて、お礼申し上げます。ありがとう、そしてお疲れ様でした。

それでは、今日は2つのことについて話をします。

一つ目は、本日から、後期がスタートです。土日の休みしかありませんでしたが、自分でギアを切り替えましたか。気持ちを新たにすることは、大切なことです。特に、前期の成績が出ましたので、その結果を受けて、自分がどのように行動、学習して行かなければならないか、考えてください。きっかけが大切です。この後期のスタートを切り替えのチャンスにしてください。

3年生は、進路に向けての再確認です。自分の学習状況をきちんと分析して、受験当日までのイメージを作ってください。粘り強く頑張り抜くことです。

2年生は、目前に迫った見学旅行が楽しみだと思えます。思いっきり楽しんできて欲しいと願っています。旅行から戻ってきての切り替えでしょうか。やはり、自分の進路に向けて真剣に考え、現状を分析してこれからの計画を立ててください。

1年生は、すっかり水高生になったと思えます。今から、自分の進路実現に向けて、確実に家庭学習の量を増やしてください。授業は大切ですが、受験には、プラス α が重要です。ここに進学したいだけでは夢は叶いません。ここに進学するために努力をしてください。自分との戦いです。妥協せず、志を高く持って受験勉強スタートです。

私も、受験勉強でいえば皆さんの先輩です。同じ経験をしてきました。受験勉強は、ここまでという、ゴールがありません。やってもやっても終わりが見えない。けれどもやらなければ、自分の夢の実現はない。繰り返しますが、自分との戦いです。思いを強く持つことが、達成への鍵です。

次に二つ目の話です。

本校は進学者がほとんどで就職者は少ないですが、私は北海道の校長先生の集まりの中で、進路指導、特に就職担当の仕事を任されています。その集まりが夏休みにあり、実際に企業の代表の方との懇談会がありました。どの企業の方も話していましたが、就職に当たり身につけておいて欲しい力は、一番が「コミュニケーション能力」だそうです。学習成績は優秀でも、コミュニケーション能力がないと仕事が長続きしないと。顧客があつての企業です。顧客とのコミュニケーション、ましてや会社の中でのコミュニケーションが

スムーズにできない人が増えてきているとのこと。こんな実例を挙げてました。新入社員が、入社後しばらくして、突然、社長室に訪れ、「仕事分からないので辞めます」と。理由を聞くと、仕事内容を教えてくれないから分からない。ということらしいです。社長さんは、なぜ、「教えてください、分からない」と言えないのかと尋ねると、黙ってしまう。こんなことが、結構、あるようです。皆さんは、大丈夫でしょうか。

二番目が、「失敗の経験・挫折の経験をしてこなかった」ということです。社会に出たら、守ってくれる親、先生はいません。全てが自分の責任の下での言動です。成功したときは良いですが、失敗したときに、立ち直ってこられないということです。失敗・挫折が良いわけではありませんが、今のうちに経験しておくことが、社会に出てからも強く生きていけることに繋がります。ただ、ここでお願いがあります。友達が失敗したとき、挫折したときは、支えてあげてください。それが、優しさ・思いやりだと思います。仲間を大切にしてください。

後期スタートへの気持ちの切り替えと、将来に向けての企業が求めているものの話をしました。この2つのことを心にとめながら、学校生活を送ってくれたら嬉しいです。

それでは、後期も元気に過ごしていきましょう。